

4/22  
(木)

## 春の一日園外保育 春の匂いを感じて

4月22日、鷹巣幼稚園で春の一日園外保育が行われました。

毎年恒例の園外保育には、同幼稚園の園児8人と職員3人が参加。園児らは花フェスタのサンセットの丘会場周辺で、花ばなを見たり、友達と遊んだりして春を満喫していました。

園児の竹之下<sup>りくと</sup>楓智くん(山中)は「お花の匂いがいっぱいして楽しかった」と笑顔で話しました。



思い思いのポーズを取る園児ら

4/24  
(土)

## 薄井集落でたくさんの鯉のぼり 子どもたちのために

4月24日、薄井集落にたくさんの鯉のぼりが泳いでいました。

この鯉のぼりは、家庭で飾らなくなったものを集めたもので、4月20日から5月9日まで飾られる予定です。同集落の濱島恭平さん(薄井育成会長)が同自治公民館長の入口守さんに依頼して集落放送で呼び掛けたところ、住民らからたくさん寄せられました。



迫力あふれるたくさんの鯉のぼり

たくさんの鯉のぼりに笑顔あふれる薄井育成会



設置場所は竹島にある資材置き場で、集落内には飾りきれない鯉のぼりが集まり、急きょこの場所になりました。

集まった鯉のぼりは約80匹で、竹材やロープを使った自前の柱に飾られ、まるで本物の鯉が群れをなして泳いでいるようでした。

同育成会は毎年、こどもの日に行事を行っていましたが、今年は新型コロナウイルスの影響で延期を決定しました。

「コロナの影響で子どもたちは息苦しい毎日を送っている。この鯉のぼりを見て、少しでも明るくなってくれたら」という育成会の思いで今年から始めました。

濱島さんは「今後は集落の恒例行事にしていきたい。集落内のみならずさまざまところから集めて、いずれば竹島全体に鯉のぼりを飾ることができれば」と意気込みを語りました。